

ハネムーナーやひとり旅、家族など世代、国を越えた乗客がひとつのファミリーになって旅をする。

南極の氷を浮かべた  
ウイスキーのオン・  
ザ・ロックで乾杯



上／ソディック・ボートで上陸やクルーズをする。中／朝食とランチはビュッフェスタイルの食事で、ディナーはフルコースのフルサービス 下／海が荒れていなければデッキに出てのんびりしたり、バードウォッチングを楽しめる



## DATA FILE

飛行機：日本からブエノス・アイレス（アルゼンチン）のホルヘ・チャベス国際空港まで経由便で25時間30分。

ブエノス・アイレスからのアクセス：拠点となるウシュアイアまで飛行機で約3時間30分。ウシュアイアからクルーズ船に乗船。クルーズは11～12日間の日程。

### 11～3月

南極半島クルーズは、南極が夏を迎える11月上旬～3月中旬のみ催行している。最もベストな時期は、12～1月。

### 16日～

南極半島クルーズの日程は11～12日間。ただし、出航が遅なので、前日はウシュアイア泊となるなど、最短でもこの日数。

90万円～

サウス・シェットランド＆南極半島クルーズ12日間でUS\$6000～が目安。プラス往復の航空券代(30万円～)など。

地球の歩き方 アルゼンチン  
チリ パラグアイ ウルグアイ編、GemStone南極大陸完全旅行ガイド



巨大な氷山が漂う海域を進む。もしうつければ船はひとたまりもない



ソディック・ボートで上陸やクルーズをする。条件に合った上陸ポイントが選ばれ、ゴム製のソディック・ボートに乗って上陸や、島周辺のクルーズが行われる。ツアーよりによっては事前に申込みで、上陸してのキャンプやシートを南極大陸に上陸する。

南極半島とサウス・シェットランド諸島へのクルーズのスタート地点は、アルゼンチンのウシュアイア。「世界の果て」と呼ばれる南米大陸最南端の都市だ。ここからクルーズ船に乗り、ビーグル水道からドレーク海峡を越え、南極をめながら上陸するのが、1944年に建てられたイギリス最初の観測基地、ポート・ロックロイ。ユーロンジャックに寄り添う小屋は、夏だけオープンする南極半島唯一の郵便局。大切な人に手紙をしたため切手を貼つたり、お次はスタンプ。これがなんとペンギンの絵で、しかも郵便局の緯度経度入りのスペシャルバージョン！押すのが楽しくて、次々と手紙を書いてしまって間違いない！



### COLUMN | 南極大陸へのフライトツアー

南極大陸には5種類のペンギンが生息しており、エンペラーペンギン以外は南極半島で見られる。エンペラーペンギンを見るには、南極点へ行くツアーアに参加する。エンペラーペンギンを見るツアーアは、チリのブンタ・アレーナスから専用機で南極大陸の拠点ユニオン・グレッシャーに行き、天候を見ながら目的地にフライトする。ただし、クルーズの数倍の費用がかかる。最大のペンギンであるエンペラーペンギンは南極大陸の沿岸部にのみ生息。内陸と海を100 kmも移動する

カヤックに参加でき、さまざまな角度から南極を満喫できる。今にも崩れ落ちそうな氷河を眺めながら上陸するのが、1944年に建てられたイギリス最初の観測基地、ポート・ロックロイ。ユーロンジャックに寄り添う小屋は、夏だけオープンする南極半島唯一の郵便局。大切な人に手紙をしたため切手を貼つたり、お次はスタンプ。これがなんとペンギンの絵で、しかも郵便局の緯度経度入りのスペシャルバージョン！押すのが楽しくて、次々と手紙を書いてしまって間違いない！

南極大陸には5種類のペンギンが生息しており、エンペラーペンギン以外は南極半島で見られる。エンペラーペンギンを見るには、南極点へ行くツアーアに参加する。エンペラーペンギンを見るツアーアは、チリのブンタ・アレーナスから専用機で南極大陸の拠点ユニオン・グレッシャーに行き、天候を見ながら目的地にフライトする。ただし、クルーズの数倍の費用がかかる。最大のペンギンであるエンペラーペンギンは南極大陸の沿岸部にのみ生息。内陸と海を100 kmも移動する

## 南極半島クルーズ。 一生に一度の 濃密な2週間を過ごす



### Antarctic Peninsula 南極半島 Antarctica 南極

Point  
南米アルゼンチン最南端の都市ウシュアイアから、南極半島の先端まで約1200km。クルーズでは南極半島の西にあるサウス・シェットランド諸島にも寄る。



南極はいまや旅行で誰でも行ける場所

ソディック・ボートに乗つて氷山へと迫る。水面ぎりぎりから見上げる氷河はあまりにも巨大で美しいと言つよりは、恐怖すら感じる。人類が観光で行くことができる最も極限の地、それが南極だ。南極はオーストラリアの約2倍、アフリカ大陸の半分の約1400万km<sup>2</sup>の大ささをもつ大陸。南極氷床に覆われ、氷の量は地球上最大。氷の厚さは平均で2.3 km、厚いところでは4 kmを超える。そして大陸中央の南極氷床は最も寒い7月の平均最低気温がマイナス63℃。そのため、南極に行けるのは探検家や観測隊など、ごくごく限られた人たちだった。しかし、時代は変わり、今では誰もが南極に行くことができる。実際に、世界各地から年間3万人もの観光客が南極を訪れている。南米大陸の南端からドレーク海峡を越えると、南極大陸から突き出た南極半島に到達する。半島周辺にはサウス・シェットランド諸島があり、このふたつを巡るクルーズが一般的な南極ツアード�다。